

日南町議会議員 山本 芳昭様

日南町長 中村英明

岩崎 昭男議員 一般質問答弁要旨

質問要旨	答弁（要旨を箇条書きしてください）
<p>1. 新型コロナウイルス禍への対応について</p> <p>①今回の事態に対し、町内事業者の経営状況をどう把握しているか伺う。</p> <p>②国・県・町の支援策の利用状況について伺う。</p> <p>③災害時の避難所運営において、新型コロナウイルス感染防止対策について伺う。</p> <p>2. 移住定住対策について</p> <p>①町内企業等の就業者（公務員も含む）で、住宅不足により町内に居住ができなかった人数を把握できているか伺う。</p> <p>②空き家の活用を図るための施策（空き家バンク制度、いきいき定住促進条例による住宅補助、空き家家財道具等処分補助金）の活用実績を問う。また、その結果をどう分析・評価しているか伺う。</p>	<p>1.</p> <p>①町商工会、町森林組合、JA 鳥取西部との連携強化をはじめ、各事業関係者からも情報を収集して状況の把握に努めている。</p> <p>②国・県における支援策について、直接申請する方法のため、殆ど把握できない状況。 町を窓口または経由する事業の状況 (6月12日現在) (1)特別定額給付金は対象 1,999 世帯（4,447 人）中 1,965 世帯（4,396 人）に給付済み。 (2)セーフティネット等資金繰りは13件の申請がなされている。 また、町単独事業の状況(6月12日現在) (1)日南町新型コロナウイルス感染症感染防止休業協力金事業は23店舗28事業（休業要請全事業者）が申請、支払い済み。 (2)日南町新型コロナ感染症対策事業者緊急支援応援金事業は4件の申請、12件の相談を受けている。</p> <p>③避難所においても、マスクの着用や手洗い、室内換気を実施することが重要である。感染防止に必要な資材の確保や避難所が3密とならないための分散避難等の見直し、周知等について準備を進めている。</p> <p>2.</p> <p>①町へ相談のあった者については把握をしているが、それ以外は情報を知り得ておらず多くは把握できていない。</p> <p>②活用実績について5月31日現在、空き家バンク登録は76件、うち令和元年度登録は10件。利用中は51件、空きは25件。いきいき定住促進条例による住宅補助金は令和元年度2件。空き家家財道具等処分補助金は令和元年度3</p>

件。空き家バンク登録により適正な管理と有効活用が図られており、今後も継続して取り組みたい。また、件数は更に増やしていきたい。住宅補助金や空き家家財道具等処分補助金は、入居に必要な改修や家財処分の負担軽減に有効活用されており、登録物件の利活用促進として今後も継続していく。

日南町議会議員 山本 芳昭様

日南町長 中村 英明

近藤 仁志議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 （要旨を箇条書きしてください）
<p>1. ふるさと教育の取り組みについて</p> <p>①本年度新規事業に日野郡ふるさと教育がある。その目玉事業として公設塾まなびや縁側が運営されているが、その執行状況と内容について伺う。</p> <p>②その前身的事業として日野高校魅力向上推進事業が行われていたが、その検証はなされたか。その内容について伺う。</p> <p>③コミュニティースクールやエコツーリズム活動等と一体となった取り組みは考えられないか伺う。</p> <p>④前回の答弁で大人の意識改革も必要と言われたが、その糸口はどこにあると考えるか伺う。</p>	<p>1.</p> <p>①令和2年4月から、公設塾まなびや縁側を開塾し、日野郡出身の高校生や日野高生を対象にお試し期間での体験活動を行い、町内の生徒も利用している。6月1日予定のグランドオープンは、新型コロナウイルス感染症の影響等で9月に延期となっている。</p> <p>②日野高校魅力向上推進協議会やワーキンググループを実施し、その都度、日野高校の魅力向上に向けた取り組みの検討や情報発信、改善策等について協議を行っている。しかし、課題も多くあり生徒の確保には繋がっていない現状がある。</p> <p>③今年度より、県と市町村が進めている小中高등학교ふるさとキャリア教育のビジョンの中に、コミュニティー・スクールと連携・協働した取り組みの推進も含まれている。今後、地域の人材や自然等を活用するカリキュラムの検討により、より充実したふるさと教育の取り組みになると考えられる。</p> <p>④大人の意識改革の糸口は、まさにコミュニティー・スクールの導入・充実にあると考える。目標やビジョンを共有するために議論を重ね、学校と地域の人々が協働して活動することで、大人の意識改革に繋がると考える。</p>
<p>2. 地域おこし協力隊の活用による集落機能の維持について</p> <p>①地域おこし協力隊制度ができて10年が過ぎ、本町でも多くの人に活用してきた。多様な知識や技術を持った若者が地方に関心を寄せている今、日南町が真に欲する人材を募集する方法も必要と考えるが町長の見解を伺う。</p>	<p>2.</p> <p>①まちづくりに必要な人材を地域おこし協力隊制度を活用して募集することは重要であるが、しっかりと目的をもって従事していただくことが最も重要であると考えている。事業実施に合わせた人材募集に努めたい。</p>

日南町議会議長 山本 芳昭様

日南町長 中村 英明

大西 保議員 一般質問答弁要旨

質問要旨	答弁（要旨を箇条書きしてください）
<p>1. 環境政策と総合戦略の整合性について</p> <p>①6月は全国環境月間であるが、町としての重点取り組みはあるのか伺う。</p> <p>②環境数値目標の令和元年度の実績は、まとめられたのか伺う。</p> <p>③今年度の環境審議会の開催はどのようにされるのか伺う。</p> <p>④Jクレジットの目標販売数量について、第3期環境計画の最終年度（令和4年）累計6,406tと第2期まち・ひと・しごと創生日南町総合戦略では、最終年度（令和6年）単年で2,000tとなっているが、令和2年から6年までの単年度の計画数量はいくらなのか伺う。</p>	<p>1.</p> <p>①環境月間は、環境意識の啓発期間としてポスター掲示を実施している。</p> <p>②確定した数値から順次とりまとめている状況である。</p> <p>③数値目標が集約できた段階で開催し、環境基本計画の中間であることから、目標値や指標について意見をいただく予定である。</p> <p>④第3期環境計画では、第2期計画後半の販売量の伸びや東京五輪の開催など環境への関心の高まりなどにより販売が増加することを見込み全量を販売する目標であったが、令和2年3月に策定した第2期総合戦略では、現状を踏まえ単年度計画数量を毎年度400tとし、5年で2,000tを見込んでいる。</p>
<p>2. セントラルファーム農場の環境問題についての4月以降の状況変化について</p> <p>①農場の窓口担当の変更はあったのか。また、町窓口との連携は常に行われているのか伺う。</p> <p>②浄化設備の改善・更新の進捗状況を伺う。</p> <p>③「河川の水質悪化に関する意見交換会」開催の次回開催予定はいつなのか伺う。</p> <p>④飼育頭数の1月から6ヶ月間の増減を伺う。</p>	<p>2.</p> <p>①農場の窓口は農場長で変更はない。飼育頭数の報告や水質検査の立ち入り許可で、定期的に連絡は取り合っている。</p> <p>②浄化設備の改善・更新は、引き続き検討をされている。</p> <p>③報告すべき事案が出た際や、関係者からの要請により適切な時期に行う。</p> <p>④飼育頭数報告により頭数を把握しており、1月から5月までの実績は、協約書どおり8,500頭未満を順守している。</p>

日南町議会議員 山本 芳昭様

日南町長 中村 英明

坪倉 勝幸議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 （要旨を箇条書きしてください）
<p>1. 創造的過疎のまちの実現について 以下の事項について、それぞれ取り組み方針及び具体的な施策を伺う。</p> <p>①「求人」と「求職」のミスマッチ解消</p> <p>②高齢者の就業促進</p> <p>③外国人技能実習生制度による人材確保</p> <p>④特定地域づくり事業協同組合制度の活用</p> <p>⑤地域おこし協力隊の受け入れ</p> <p>⑥すぐに活用できる空き家をはじめとする住宅の確保</p> <p>⑦ふるさと教育の推進</p>	<p>1.</p> <p>①ハローワーク、商工会と連携した事業展開に取り組む方針で、インターネット等を活用した企業紹介、お仕事フェア、インターンシップ事業の推進を計画している。</p> <p>②働きたい高齢者の「雇用の場」確保を方針とし、短時間で働くことのできる仕組みづくりの検討を進めている。</p> <p>③外国人技能実習生制度の支援と安心して働くことのできる環境づくりによる人材確保の推進を方針として、交流支援員による環境づくりの整備と制度の活用推進を進めている。</p> <p>④制度活用による「新たな雇用の場」の創出と「移住・定住の促進」を方針とし、組合設立等雇用の受け皿づくりの検討を進めている。</p> <p>⑤様々な分野で活躍できる人材の確保に向けた体制の整備と人材確保・支援を方針に、農業研修制度の継続と農業以外の分野での活躍の場づくりに向けた検討を行っている。</p> <p>⑥ニーズに合った空き家等住居の確保を方針とし、すぐに入居できる空き家登録の推進と更なる住宅整備の検討を行っている。</p> <p>⑦今年度より、国や県と共に、統一したビジョンによるふるさとキャリア教育の推進に取り組んでいる。小学校から高等学校まで系統的な取り組みを行うことで、ふるさとに誇りと愛着を持ち、将来を担う児童生徒の育成を目指している。また、今年度より日野郡3町が連携をした「日野郡ふるさと教育」がスタートした。</p>

日南町議会議長 山本 芳昭様

日南町長 中村 英明

岡本 健三議員 一般質問答弁要旨

質問要旨	答弁（要旨を箇条書きしてください）
<p>1. 新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>①学校の臨時休業など大きな影響を受けたのが子育て世帯である。子育て世帯には既に臨時特別給付金が給付されているが、これを強化するため日南町学校給食費補助金を拡充してはどうか。</p> <p>②5月臨時会の条例改正で国民健康保険（国保）の傷病手当が支給されるようになったが、支給対象が被用者に限られており、対象となる傷病も新型コロナウイルス感染症に限られている。支給対象を事業主へも広げるとともに他の疾患やケガなどにも対応できるようにさらに条例改正されるべきと考えるがどうか。</p> <p>③新型コロナウイルス感染症に対応した「新しい生活様式」の中に「こまめに手洗い」がある。これを進めるため、上下水道料金の減免をしてはどうか。手洗いの励行とともに、新型コロナで生じた経済的負担の軽減にも有効ではないか。</p> <p>④「新しい生活様式」の実践により飲食店、小売店などには従来の人賑わいはなく、また、理美容室、宿泊施設などは三密を避けるため予約数を減らさなければならない。この経済的損失を応援するため、新型コロナ感染症対策事業者緊急支援応援金を6月以降も継続してはどうか。</p> <p>⑤「新しい生活様式」への対応により、大雨、台風などの際の避難計画に変更はあるか伺う。</p> <p>⑥杉材を中心に用材の供給過剰と価格の下落</p>	<p>1.</p> <p>①学校の臨時休業等により、保護者へ様々な影響が出ていると考えられるが、国・県・町などから家庭への支援策も行われている。学校給食費補助金の拡充については、今後の新型コロナウイルス感染症に係る経済状況や今年度実施している給食費補助の実施状況を踏まえて検討していきたい。</p> <p>②事業主は事業経営に責任を負い、自らの報酬を決定すべき立場であり、報酬の減額を受ける側とならないことから支給すべきでない。また、新型コロナウイルス感染症に対する傷病手当金は国の支援があったからできた制度であり、他の疾患等に拡大する改正は考えていない。</p> <p>③簡易水道の家庭用一般使用水量は、前年と対比して変動がない。今後の情勢に応じて検討したい。</p> <p>④新型コロナ感染症対策事業者緊急支援応援金は、国の支援対象外かつ緊急性を要する者への支援を目的としたもの。経済的支援として国の2次補正と並行し、事業者への更なる支援制度を検討している。</p> <p>⑤現在、実践している新しい生活様式に加え、3密を防ぐための避難の分散が必要となることから、これまでの避難計画に加え新たな対応が必要となる。避難計画の見直しと周知が必要であると考えている。</p> <p>⑥コロナ禍により既に影響のあった業種やま</p>

<p>が生じている。また、宿泊、飲食業や他の小売業なども出口の見えない状態である。事業者を助けるため、国の持続化給付金で足りない部分を上乗せする町独自の給付金事業を実施してはどうか。</p> <p>⑦安い価格の木材を伐採するより休業した方が良い場合もあるのではないか。その場合に雇用調整助成金に町が上乗せして給付金を支払うことで、従業員、事業主、山主いずれの負担も抑えることができなにか伺う。</p>	<p>だ影響が少ない業種もある。先行き不透明な中長期化も懸念されるため、事業者を廃業させないためにどのような支援が有効であるか、国や県における追加支援策とともに、国の臨時交付金を活用した経済対策に取り組んでいく。</p> <p>⑦木材価格の下落する中、従来どおりの施業を行うことは経営的にも難しい。令和元年度は記録的な暖冬のため1月～3月まで安定的に施業が出来たことは幸運だったと思われる。木材価格や木材需要の回復を待ちながら、当分の間は有利な国県事業を活用し、なお不足する部分については単町事業の新設など検討していく。</p>
--	--

日南町議会議長 山本 芳昭様

日南町長 中村 英明

荒木 博議員 一般質問答弁要旨

質問要旨	答弁（要旨を箇条書きしてください）
<p>1. 住宅施策について</p> <p>①道の駅隣接の世帯用賃貸住宅6戸全てが入居済みとなっている。新たな建設計画の有無について伺う。</p> <p>②有料老人ホームの入居状態と今後見込まれる高齢者住宅の必要性について伺う。</p> <p>③空き家の活用をするために町で改修工事をして提供してはどうか。</p>	<p>1.</p> <p>①賃貸住宅のニーズはあるため、新たな建設は必要と考えている。既存の公営住宅をはじめ空き家の活用など総合的かつ多様なニーズに沿った住宅整備を進めていきたい。</p> <p>②6月10日現在、「有料老人ホームつくほ」は定員9人に対し5人が入居中、昨年12月の開設後8人が最多である。「高齢者賃貸住宅なごみの里」は10戸中8戸入居中である。高齢者の住まいについては、令和元年度に実施した高齢者のニーズ調査では、有料老人ホーム33人（2.3%）、高齢者賃貸住宅29人（2.0%）が3年以内に利用したいと回答し、また、要介護状態になったとき生活を送りたい場所は、自宅が50.2%、老健や特養などの施設が12.4%、有料老人ホームやサ高住が4.5%、不明が32.4%となっている。これらのニーズを分析した上で、短期入所や今後の日南病院療養病棟の利用形態、冬期間のみの施設利用、人口動態など考慮し令和2年度中には方針を決定する予定である。</p> <p>③個人財産に対する公的支援のあり方、住み続けられている方との均衡など整理すべき課題はあるが、町が改修を行うことの検討は進めていきたい。</p>
<p>2. 義務教育の在り方について</p> <p>①日南町教育振興基本計画で掲げられる、令和4年導入予定のコミュニティスクールがもたらす効果について伺う。</p> <p>②平成31年全国学力・学習状況の結果を受け</p>	<p>2.</p> <p>①コミュニティ・スクールがもたらす効果はいろいろ考えられるが、大きな効果としては学校家庭・地域の役割と責任を明確にし、多くの人々が学校に関わることで、地域に信頼され期待される学校づくりやまち・人づくりにつながると考えられる。</p> <p>②中学校国語は全国平均を上回ったが、その他</p>

での対策について伺う。

は全国平均を下回る状況で、学力向上は大きな課題となっている。対策として、ICT教育に係るICT支援員の拡充や図書館教育の充実に向けた図書館司書の配置、鳥取大学との連携による学習支援、標準学力調査の実施等を行い、改善に向けての取り組みを進めている。

日南町議会議員 山本 芳昭様

日南町長 中村 英明

櫃田 洋一議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 （要旨を箇条書きしてください）
<p>1. 防災と新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>①BCPの取り組みについて伺う。</p> <p>②避難所の体制について伺う。</p> <p>③今年の防災訓練の取り組みについて伺う。</p> <p>2. 町道の改良工事について</p> <p>①町道霞福塚線の改良工事は、着工からかなりの時間が経過している。早期に完成させるべきではないか。</p>	<p>1.</p> <p>①平成25年3月に風水害や震災を想定した計画を策定済みである。新型コロナウイルス感染症を想定した計画について、人員確保や感染防止対策などを精査し、計画策定を進める。</p> <p>②集落等に対して避難所の管理や運営について説明を行っている。感染症対策についても、マスクの着用や手洗い、室内換気、3密を防ぐための間隔を確保するなどの対策を行っていただくよう周知の準備を進めている。</p> <p>③昨年の防災訓練の改善とあわせて感染防止対策の訓練を計画したい。</p> <p>2.</p> <p>①平成22年度に工事着手し、これまでに延長110mを完成している。残工事に4年を見込むことから工事に伴う通行規制を極力少なくするために、財源となる国庫補助金を確保しながら完成を計りたい。</p>

日南町議会議長 山本 芳昭様

日南町長 中村 英明

久代 安敏議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 （要旨を箇条書きしてください）
<p>1. 新型コロナウイルス感染症緊急支援対策について</p> <p>①政府は「今こそ地方創生」と謳い、新型コロナウイルス感染症対応地方創生交付金の活用事例集(5月1日)を発表している。</p> <p>6月4日の日南町議会全員協議会で6月定例会に補正予算の提案予定の説明が報告されたが、大原則は「休業と補償はセットである」ということに尽きる。</p> <p>いま、町民の暮らしと命を守るために一番大切なことは何か。あらためて所信を問う。</p> <p>②全国知事会は、コロナを教訓に大都市部への過度な人口集中が危険であると、地方への人口分散の必要性を強調している。この点について町長の見解を問う。</p>	<p>1.</p> <p>①感染拡大の防止とともに、雇用の維持、事業の継続、生活に困っている世帯や個人への支援が最も重要であると考えます。</p> <p>②大都市部への過度な一極集中に伴うリスクを減少・回避することの重要性を再認識するとともに、テレワークや在宅勤務など多様な働き方が評価されつつある。今後、都市と地方の更なる連携・補完が期待され、地方への人の流れをより大きなものにするこで人口減少の抑制に繋がるよう期待したい。</p>
<p>2. 鳥取県のコロナ対策の補正予算との関係について</p> <p>①木材価格の暴落に対応するために、鳥取県の補正予算と連携して、日南町森林組合に「原木安定供給等緊急対策事業」を予定しているが、この事業の取り組みは、山主や林業事業者の経営を支える仕組みになるか、具体的な説明を求めます。</p> <p>②鳥取県は、コロナ対策として「特養ホーム」などの体制整備に補正予算を組んでいるが、日南福祉会「あかねの郷」との連携は十分に図られているか伺う。</p>	<p>2.</p> <p>①この事業は原木が供給過剰になっている現状を少しでも打破するための事業としている。オロチの原木を中心に貯木量を適正値に戻すことにより価格の維持にも繋がるため、山主、林業事業者の経営支援となる。</p> <p>②鳥取県では、「新型コロナウイルス対策オンライン面会支援事業」、「介護福祉サービス提供体制確保事業」が6月議会で上程中である。県の補助要綱はまだ不明確であるが、前者は1施設当たり上限10万円の全額県補助事業であり、あかねの郷で現在実施しているスマートフォンのアプリを利用したのオンライン面会につ</p>

③鳥取大学附属病院と日南病院の「日野郡三町連携協定」が発足して2ヶ月が経過するが、新型コロナウイルス対策についての具体的な取り組みの説明を求めると同時に、5月11日の臨時会の補正予算だけで、患者対応が十分にできるのか説明を求める。

いて、今後利用者の声を聴きながら改善が必要であれば検討したい。また、職員の感染防止の観点から、オンライン会議ができる環境の整備が必要であり、活用できる事業等検討したい。後者は施設の個室化などの改修事業であり活用を想定していない。

③新型コロナウイルス対策については、協定としての取り組みは行っていない。また、新型コロナウイルス対策のための消耗品類の調達、施設内の設備の整備などは、備蓄分を含め補正予算の範囲で進めており、当面对応可能と考えている。